

みのる水田駆動除草機 KW8A (条間33cm仕様) KWM8A (条間30cm仕様)

取扱説明書〔補足版〕

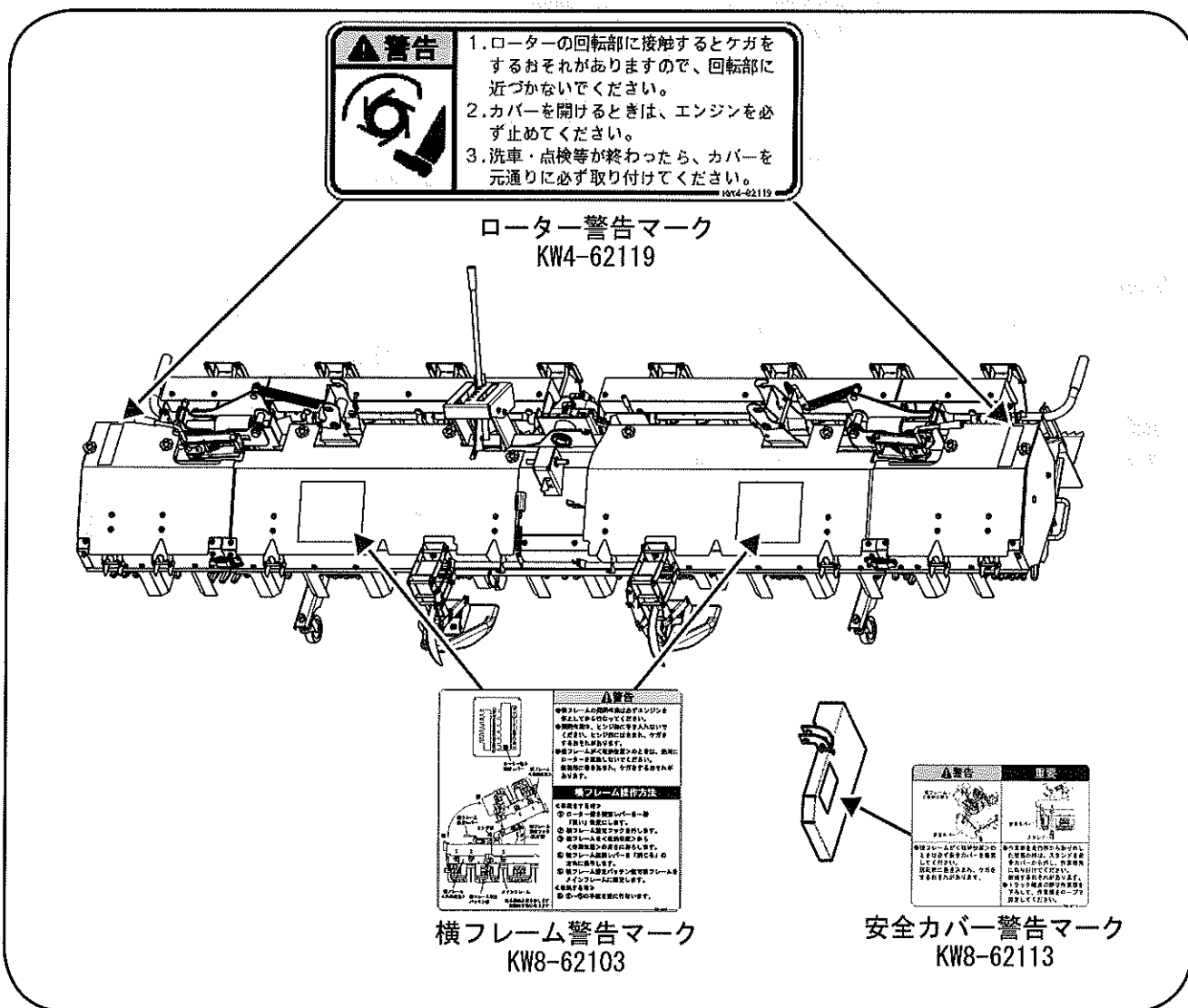
この取扱説明書〔補足版〕では水田駆動除草機 KW4, KWM4, KW6, KWM6 と異なった取り扱いを要する部分のみ抜粋して記載しております。

安全のポイントや作業のしかたの一部については、「水田駆動除草機 KW4, KWM4, KW6, KWM6 取扱説明書」の説明と同一ですのでよく読み、安全・確実な作業を心がけてください。

安全表示ラベルについて

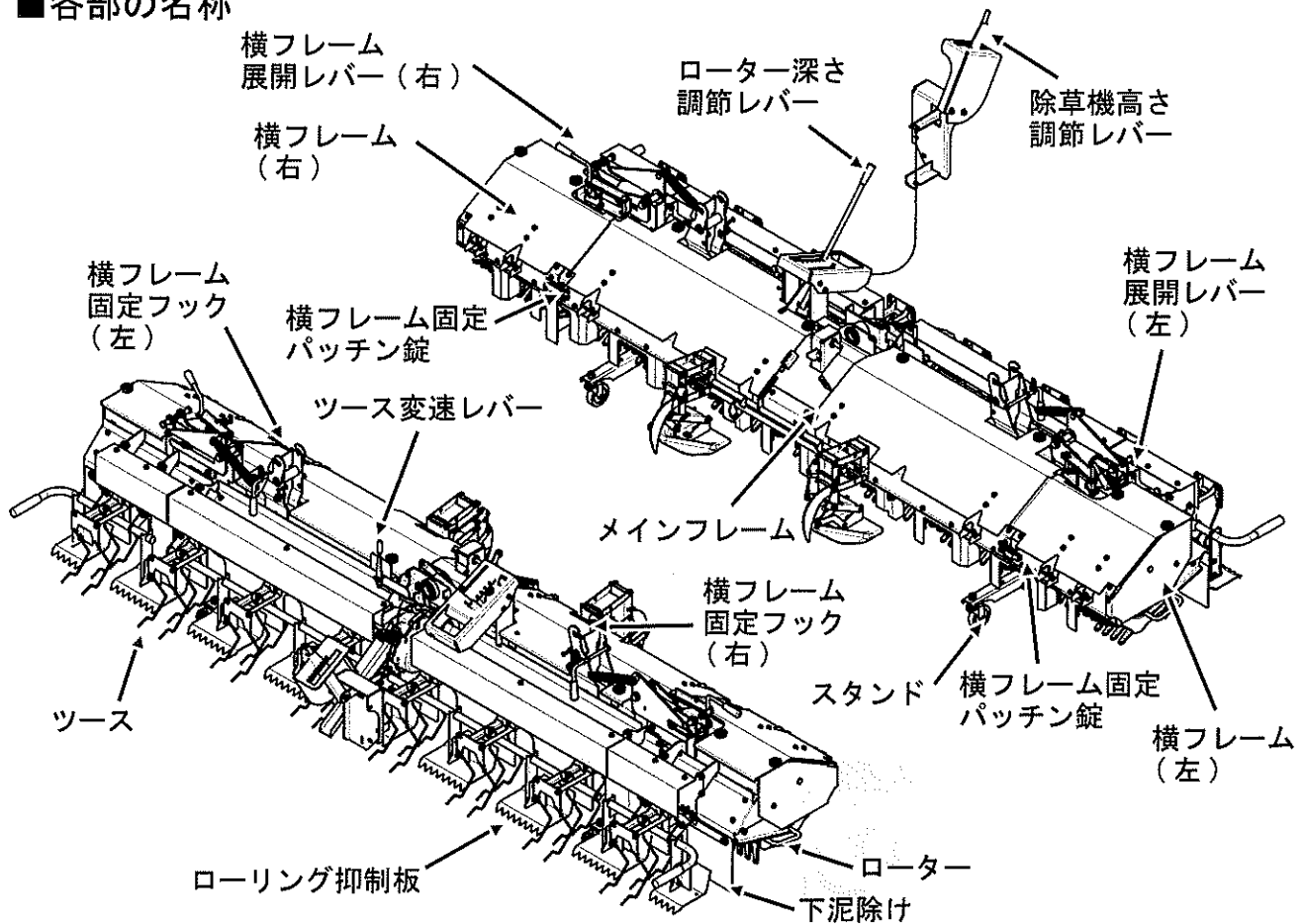
- 水田駆動除草機には、安全に作業していただくため、安全表示ラベルが貼付してあります。必ずよく読んで、これらの指示にしたがってください。
- 安全表示ラベルが破損したり、はがれたり、読めなくなった場合は、購入先に連絡し必ず所定の位置に貼ってください。
- 泥などがついた場合は、きれいにふきとり、いつでも読めるようにしてください。
- 安全表示ラベルが貼付してある部品を交換する場合、同時に安全表示ラベルも購入先にご注文ください。

安全表示ラベル貼付位置



各部の名称と取り扱い

■各部の名称



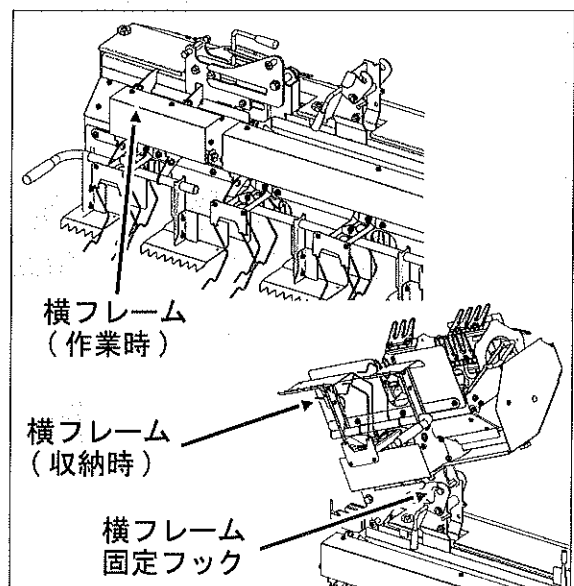
各部のはたらき

■横フレーム

(1) 左右の横フレームは移動、運搬、収納時に折りたたむことができます。

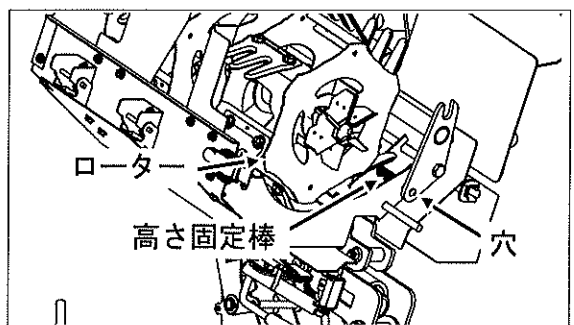
重要

●横フレームを折りたたんだときは、横フレーム固定フックで確実に固定します。



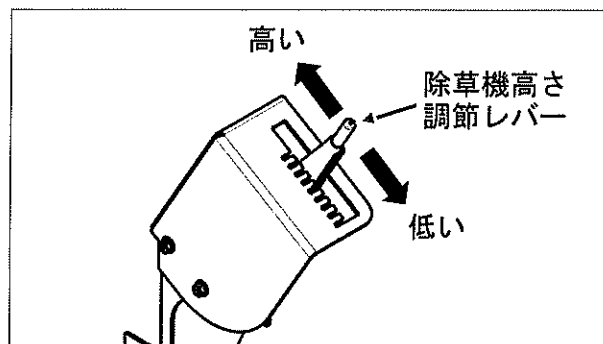
重要

- 移動、運搬で横フレームを折りたたむとき、高さ固定棒が穴に通り、ローターが固定され上下に動かないことを確認します。ローターが固定されない状態で移動、運搬すると、横フレームが破損するおそれがあります。
- 高さ固定棒の動きが悪くなった場合は、周辺のゴミ等を取り除き、グリスアップします。



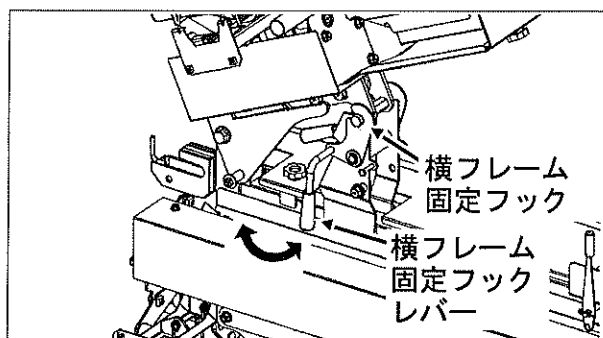
■除草機高さ調節レバー

- (1) 乗用管理機側にあり、水田駆動除草機全体の高さをほ場条件に合わせて調節するときに使用します。
- (2) 「高い」方向に操作すると、水田駆動除草機がほ場に対して浅い位置になり、「低い」方向に操作するとほ場に対して深くなります。



■横フレーム固定フック

- (1) 移動時、保管時等に横フレームを固定するフックです。左右各1か所あります。
- (2) 作業時等、横フレームを展開するときは横フレーム固定フックレバーを「外す」方向へ操作し、フックを解除します。

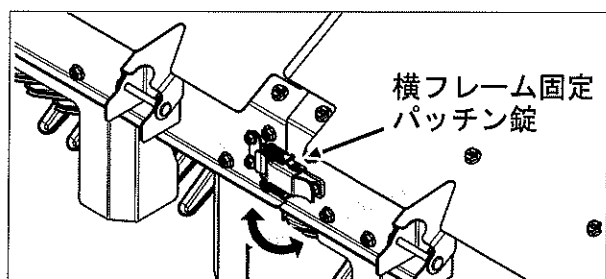


重要

- 横フレームを折りたたんだときは、横フレーム固定フックで確実に固定します。

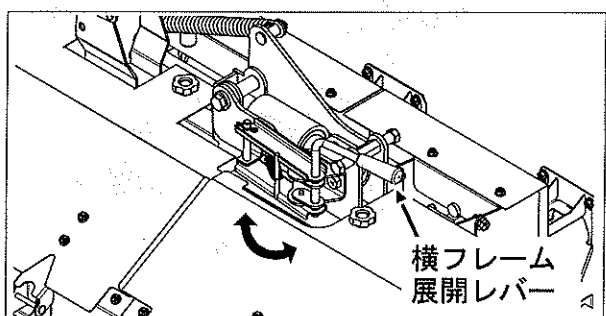
■横フレーム固定パッチン錠

- (1) 作業中の横フレームを固定する錠です。左右各1か所あります。



■横フレーム展開レバー

- (1) 横フレームを開閉するレバーです。左右各1か所あります。



■スタンド

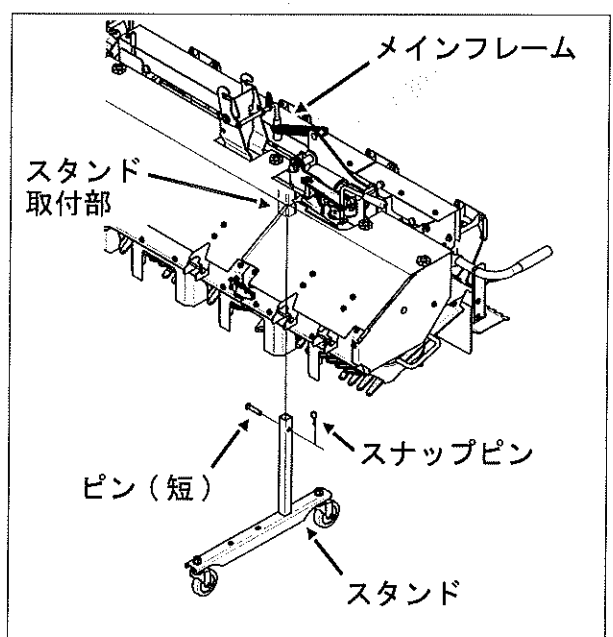
注意

- エンジンが停止していることを確認してから作業を始めてください。ケガや機械の破損の原因になります。

- (1) 水田駆動除草機の乗用管理機からの取外し時、または除草機単体での移動時に使用します。
- (2) ピン(短)、スナップピンを使用してメインフレーム下に取り付けます。

重要

- スタンドを付けたまま除草作業をしないでください。欠株の原因となります。

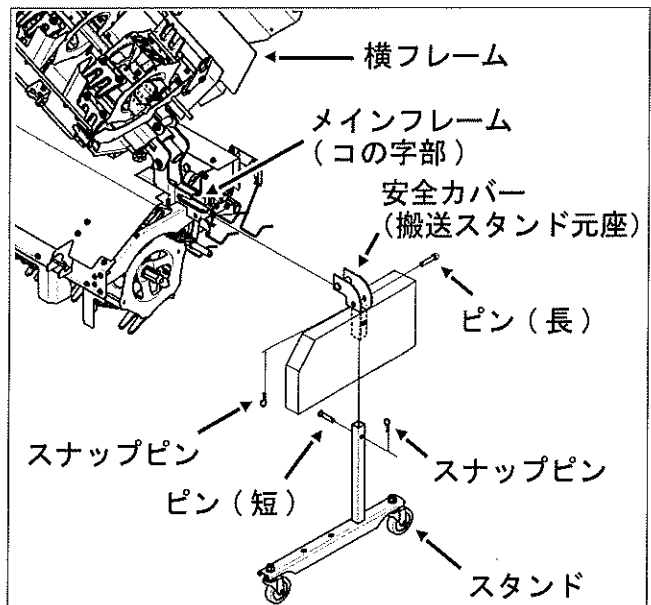


■安全カバー（搬送スタンド元座）

- (1) 乗用管理機に取り付けたまま水田駆動除草機を格納、またはトラック輸送時に使用します。
- (2) メインフレームに取り付けられているスタンドを外し、ピン（短）、スナップピンで搬送スタンド元座を取り付けます。
- (3) 横フレームを収納状態にして、メインフレーム端のコの字部に搬送スタンド元座を取り付け、ピン（長）とスナップピンで固定します。

重要

- 安全カバー（搬送スタンド元座）にスタンドをつけた状態で水田駆動除草機の取り付け、取り外し、除草機単体での移動はしないでください。破損するおそれがあります。

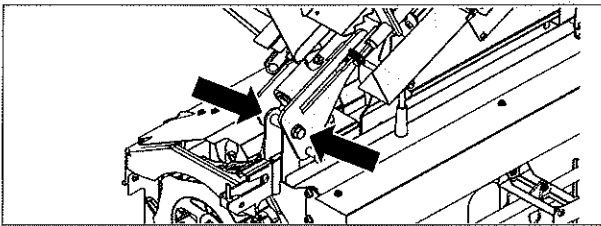


作業前点検

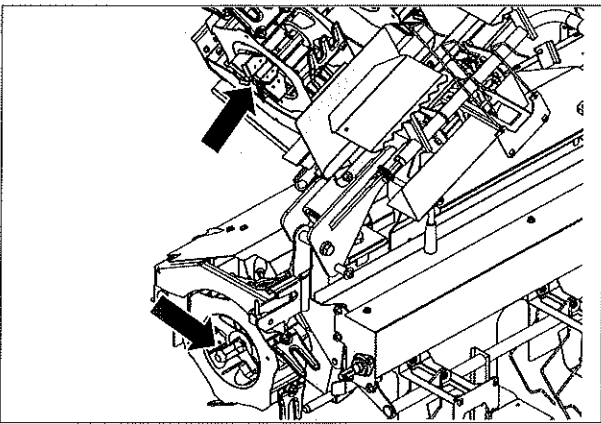
■注油箇所

(1) 次の箇所は洗車毎にグリスを注油してください。

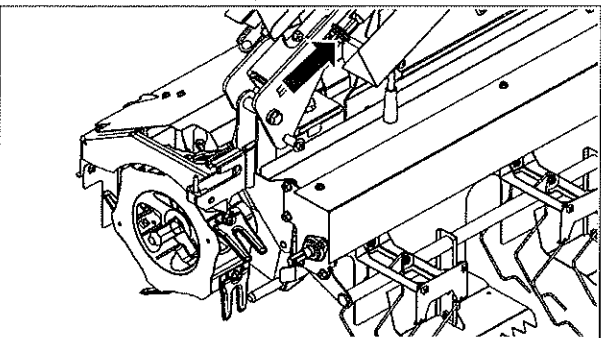
①横フレームの支定点部（左右各2ヶ所）



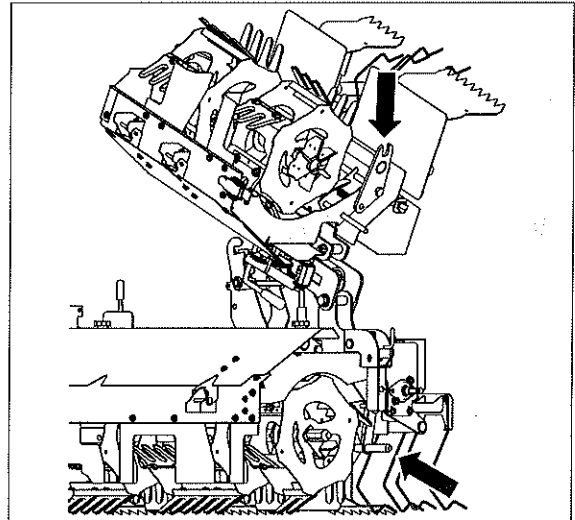
②ローター連結部（左右各2ヶ所）



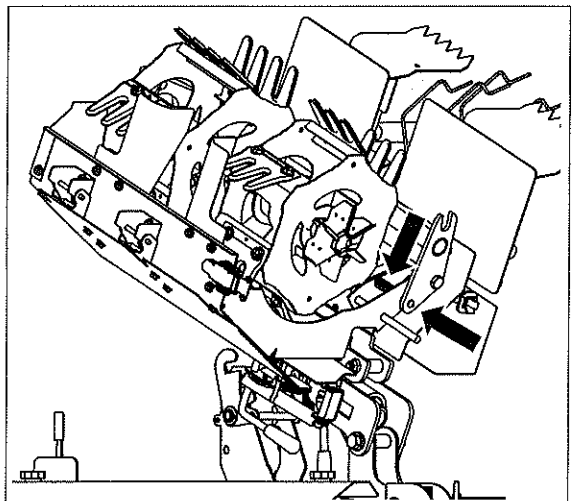
③ツース連結部（左右各2ヶ所）



④ローターホルダー接続部（左右各2ヶ所）



⑤高さ固定棒作動部（左右各2ヶ所）



水田駆動除草機は地球環境にやさしい生分解性グリスを使用
して生産しております。

■カバーの開け方

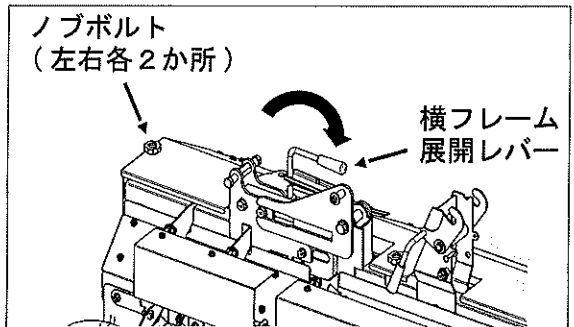
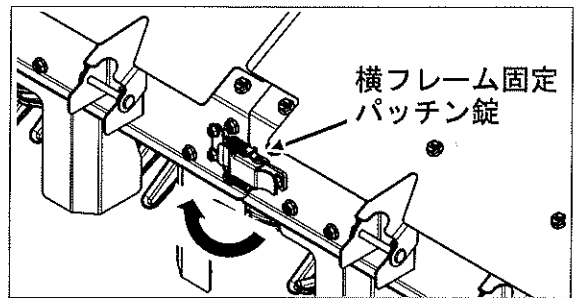
重要

●横フレーム固定パッチン錠をしたまま横フレーム展開レバーを操作しないでください。横フレーム固定パッチン錠が破損するおそれがあります。

- (1) 横フレーム固定パッチン錠を「外す」の方向に操作します。
- (2) 横フレーム展開レバーを「開く」の方向に操作し、横フレームを開きます。
- (3) 横フレームのノブボルト（左右各2か所）を外すと、横フレームのカバーが開きます。
- (4) メインフレームのノブボルト（左2か所、右3か所）を外すと、メインフレームのカバーが開きます。

重要

●メインフレームのカバーは、横フレーム展開レバーを「開く」の方向に操作しないと開けることができません。



運転のしかた

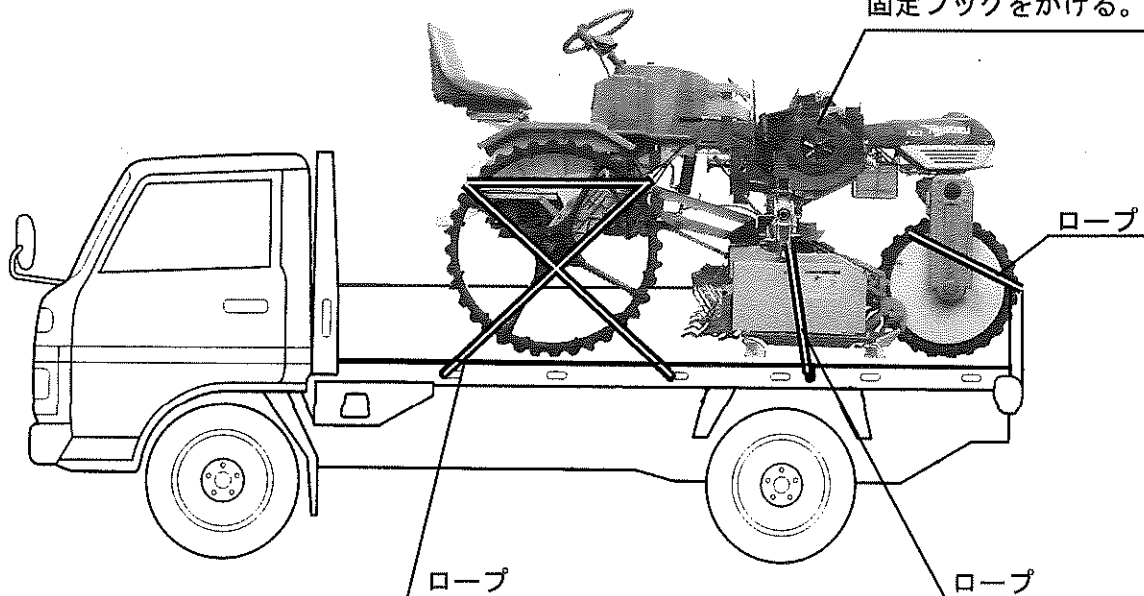
■運搬時の注意

水田駆動除草機をトラック等で運搬する場合は、必ず水田駆動除草機の横フレームを折りたたみ、横フレームのローターが固定され上下に動かないことを確認して、横フレーム固定フックをかけて乗用管理機及び水田駆動除草機本体をロープで荷台に確実に固定してください。運搬中は運転に注意し、不必要な急発進・急ブレーキ・急ハンドル等はしないでください。乗用管理機及び水田駆動除草機が移動して大変危険です。また長距離を運搬する場合は、安全のために途中でロープのゆるみ等を確認してください。

重要

- 水田駆動除草機はスタンドを付けてトラックの荷台に降ろしてください。
- 水田駆動除草機を固定せずに運搬すると、スタンドを破損することがあります。
- 横フレームのローターが固定されない状態で輸送すると、横フレームが破損するおそれがあります。
- 横フレーム固定フックをかけずに輸送すると、事故が発生するおそれがあります。
- 水田駆動除草機は強い力でロープ掛けしないでください。
- 悪路は低速で運搬してください。

横フレームを折りたたみローターが上下に動かないことを確認して横フレーム固定フックをかける。



作業のしかた

警告

(1) 作業状態以外では、絶対に除草作業をしないでください。回転部に巻き込まれ、ケガをするおそれがあります。また、バランスが悪く欠株の原因となります。

■作業条件について

この水田駆動除草機は8条植専用です。8条植えの田植機で植えたほ場で使用してください。他の条数の田植機とは走行跡がマッチせず欠株の原因となります。

■ピッチングの調節

ほ場条件によって水田駆動除草機が前上がりになる場合があります。その場合は、オプションの前輪ウエイトを装着してください。

重要

- 水田駆動除草機 KW8A ならびに KWM8A は、水田駆動除草機 KW4、KWM4、KW6、KWM6 取扱説明書 (P20) [ピッチングの調節] に記載されている、部品の付け替えによるピッチング調節はできません。

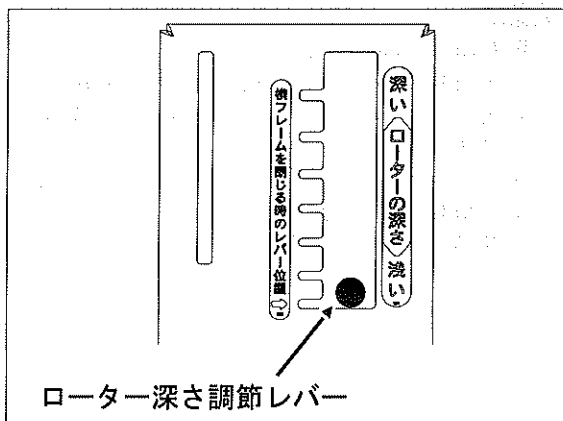
■横フレームの開閉

警告

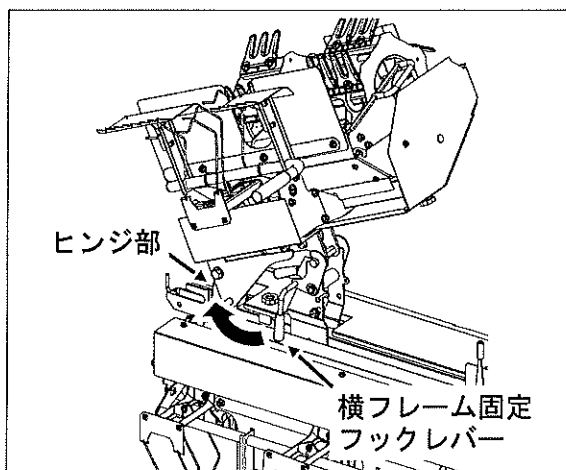
- (1) 横フレームの開閉作業は必ずエンジンを停止してから行なってください。
- (2) 開閉作業中、ヒンジ部に手を入れないでください。ヒンジ部にはさまれ、ケガをするおそれがあります。
- (3) 横フレームが開いた状態で、絶対にローターを駆動しないでください。回転部に巻き込まれ、ケガをするおそれがあります。

《作業をするとき》

- (1) ローター深さ調節レバーを一番「浅い」位置にします。



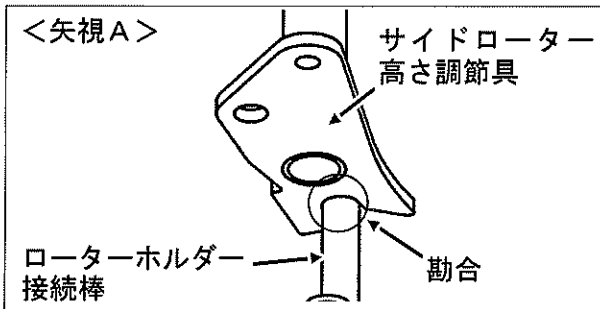
- (2) 横フレーム固定フックレバーを「外す」の方向に操作し、横フレーム固定フックを外します。



(3) 横フレームを<収納位置>から<作業位置>の
高さにおろします。

重要

- 横フレームの上げ下げはハンドルを持って行
ないます。
- 中フレームと横フレームのスキマ(矢印A部)
からローターホルダー接続棒とサイドロー
ター高さ調節具が勘合していることを確認し
ます。



(4) 横フレーム展開レバーを「閉じる」の方向に
操作し、横フレームを閉じます。

重要

- 閉じにくいときは無理やりレバーを操作しな
いください。機械が破損するおそれがあり
ます。
- 閉じにくいときは横フレームローター側のハ
ンドルを持ち、メインフレームと横フレーム
のローター軸が合うようにして、横フレーム
ローターを軽く回しながら横フレーム展開レ
バーを操作します。
- 作業状態にした後、横フレーム側のローター
を手で軽く回して、メインフレーム側のロー
ターと接続しているか確認します。

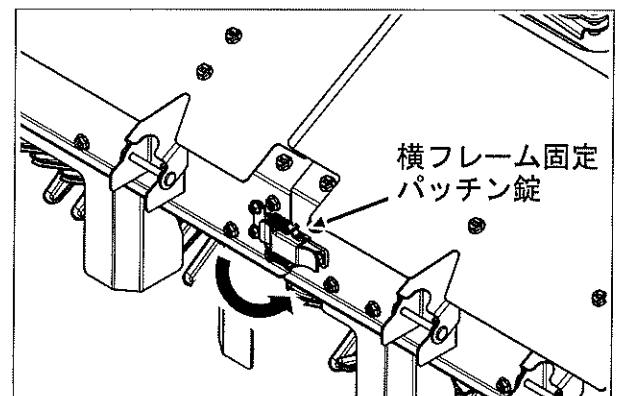
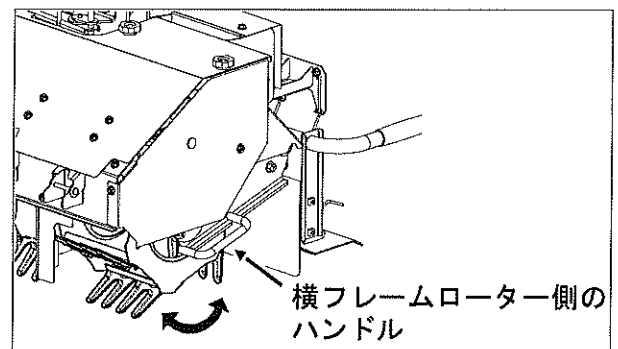
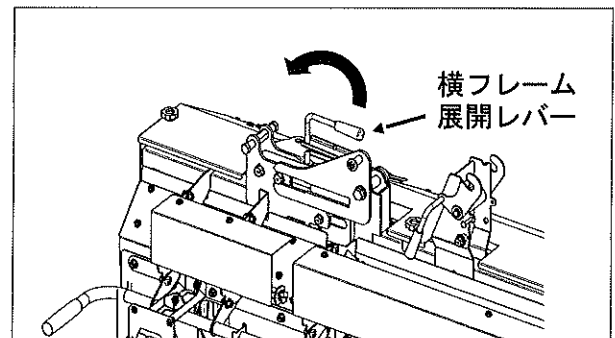
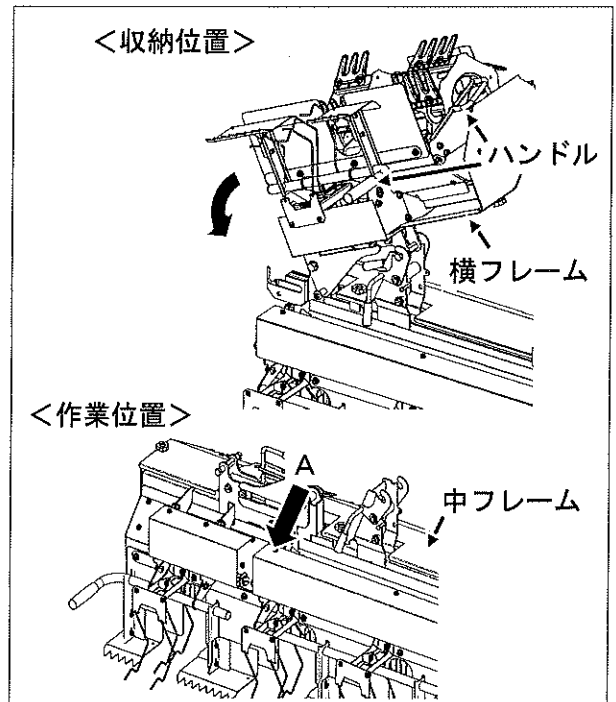
(5) 横フレーム固定パッチン錠で、横フレームを
メインフレームに固定します。

重要

- 横フレーム固定パッチン錠をしたまま横フ
レーム展開レバーを操作しないでください。
横フレーム固定パッチン錠が破損するおそれ
があります。

《収納するとき》

(1) 《作業をするとき》の手順(2)～(5)を(5)か
ら逆に行ないます。

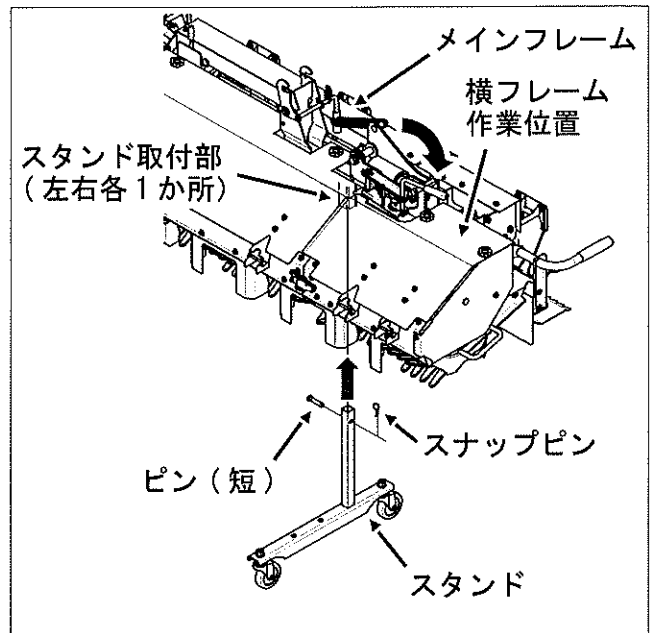


■作業機の取り外し方・組み付け方

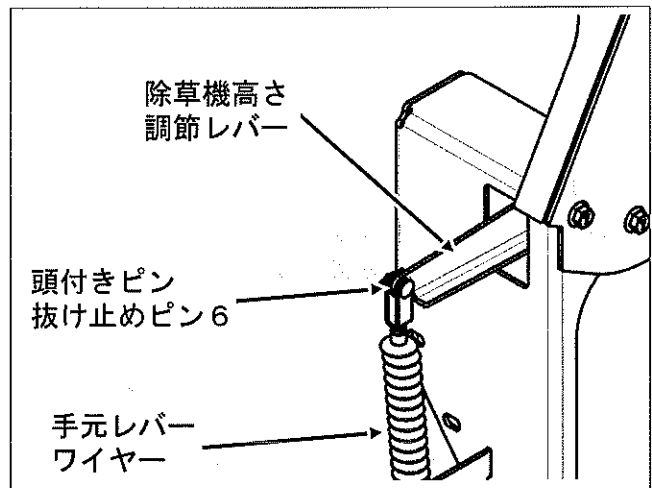
注意

- エンジンの停止していることを確認してから作業を始めてください。ケガや機械の破損の原因になります。

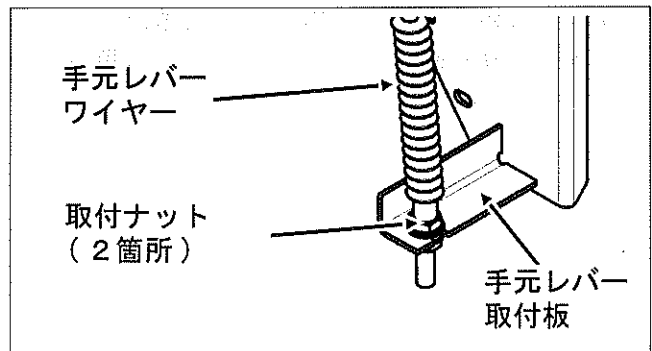
- (1) メインフレームのスタンド取付部（左右各1か所）にピン（短）とスナップピンでスタンドを取り付けます。
- (2) 横フレームを作業位置にします。



- (3) 頭付きピン、抜け止めピン6をはずし、除草機高さ調節レバーから手元レバーワイヤーをはずします。

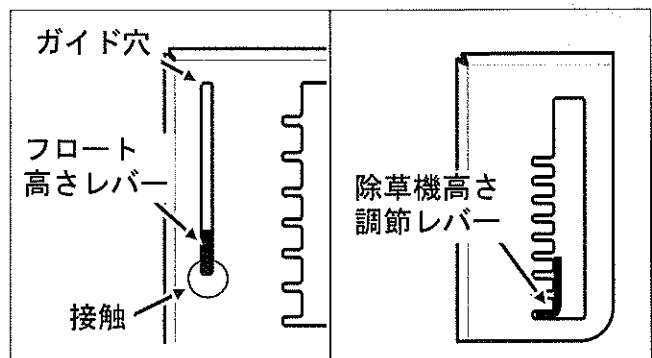


- (4) 手元レバーワイヤーの取付ナット（2カ所）をゆるめ、手元レバー取付板から手元レバーワイヤーをはずします。
- (5) 以降は、みのる水田駆動除草機 KW4・KW6・KWM4・KWM6 の作業機の取り外し方、組み付け方（P10）に従って水田駆動除草機を取りはずします。
- (6) 水田駆動除草機を組み付ける場合は、取り外し方と逆の手順で行います。



重要

- 水田除草機を組み付ける際、除草機高さレバー（管理機側）を一番低い位置にし、フロート高さレバー（除草機側）がガイド穴の下端に接触するように手元レバーワイヤー取付ナット（2カ所）を締め付けます。



不調時の処置

不調内容	原因	処置
横フレームの開閉ができない	<ul style="list-style-type: none"> ○メインフレームと横フレームのローター同士の軸がずれている ○高さ固定棒にゴミ、泥がたまり、動きが悪くなっている 	<ul style="list-style-type: none"> ○ローター深さ調節レバーを一番「浅い」位置にする (P7) ○勘合箇所ゴミ、泥の除去。 ○ローターホルダー接続棒とサイドローター高さ調節具を勘合させる (P8) ○横フレームローター側のハンドルを持ち、メインフレームと横フレームのローター軸が合うようにして、横フレームローターを軽く回しながら横フレーム展開レバーを操作する (P8) ○ゴミ、泥を除去する (P2)

サービス資料

■主要諸元

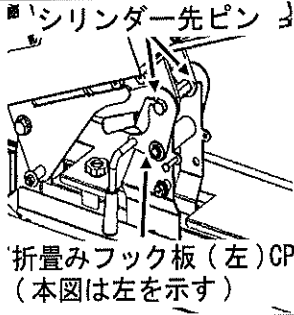
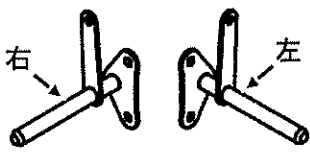
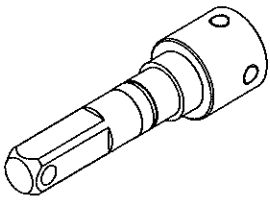
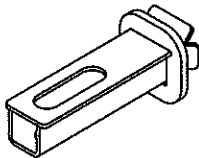
型 式 名		みのるKW8	みのるKWM8
区 分		KW8A	KWM8A
機体寸法 (作業時)	全長 (mm)		971
	全幅 (mm)	2870	2632
	全高 (mm)		813
機体寸法 (折畳み時)	全幅 (mm)	2090	1940
	全高 (mm)	1130	1115
作業機質量 (kg)		170	160
適応条数 (条)			8
適応条間 (cm)		33	30
適応作物			水稻
作業能率 (分/10a)			10 ~

■標準付属品

水田駆動除草機 KW4, KWM4, KW6, KWM6 取扱説明書に記載されている標準付属品の他に以下の部品が付属していますのでご確認ください。

- | | | | |
|-----------|--------|---------------|----------|
| ○取扱説明書補足版 | —————1 | ○安全カバー (左)(右) | —————各 1 |
| ○スナップピン | —————2 | ○ピン (長) | —————2 |

■主な消耗部品一覧

参考図	品名	部品番号	備考
 <p>シリンダー先ピン</p> <p>折畳みフック板(左)CP (本図は左を示す)</p>	折畳みフック板(左)CP	KW8-23106(1)L	フックのかかりが悪くなったとき
	折畳みフック板(右)CP	KW8-23106(1)R	
	シリンダー先ピン	RC20-1603	
 <p>右</p> <p>左</p>	ローターホルダー接続棒(左)CP	KW8-24204(1)L	メインフレーム(左端) 摩耗時
	ローターホルダー接続棒(右)CP	KW8-24204(1)R	メインフレーム(右端) 摩耗時
	ツース駆動接続軸	KW8-24414(2)	ツース駆動軸摩耗時
	ツース駆動接続板 CP	KW8-31802(1)	ツース駆動軸接続板摩耗時

メ 毛

× ㄟ